

Nittobo

日東紡グループ 会社案内



Nittobo Create

もっと未来にワクワクしたいから、
世の中にないものをつくり続ける。

日東紡グループは社会や未来をもっと便利で豊かなものにしたいという思いから、1938年世界初のグラスファイバー工業化をはじめ、新たな素材や技術を生み出してきました。これからも便利で安心な社会を支え続けたい。次の未来もワクワクできるものにしたい。そのために私たちはまだこの世界にないものをこれからもつくり続けます。

•ロールスクリーン生地
「VERRESCREEN®」
(ヴェールスクリーン)



•ネットワークサーバー向け
基板用ガラスクロス



•LNGタンク保冷構造用
ガラスクロス



•機内用ガラスクロス
•機体補強用ガラスクロス



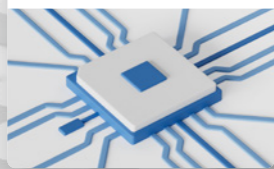
•接着芯地



•FRP用グラスファイバー



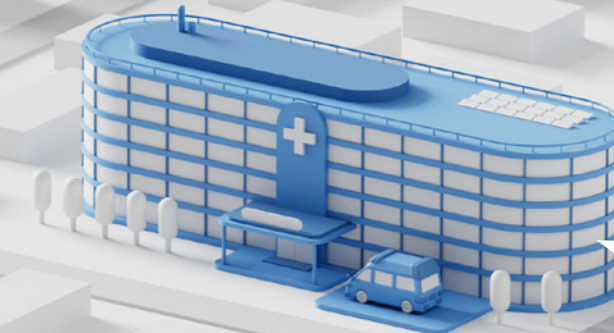
•スマートフォン筐体用
グラスファイバー
•プリント配線基板用
ガラスクロス



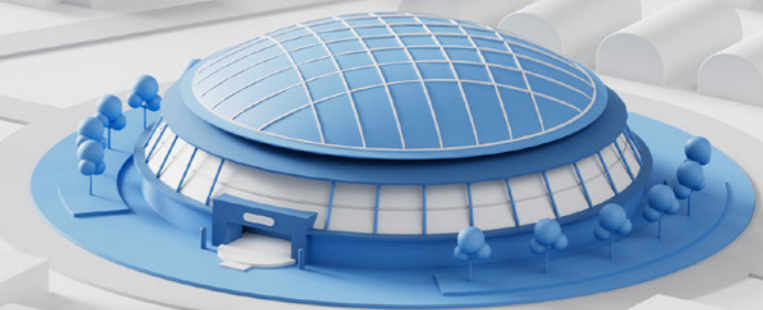
•日東紡の新しいふきん®



•FRP/FRTP部品用グラスファイバー
•制振材用ガラスクロス



•ガラスクロス膜材(内膜)



•体外診断用医薬品



•携帯基地局向け
基板用ガラスクロス

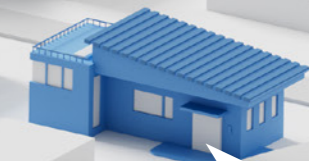


•テニスラケット補強用
グラスファイバー



•道路補強用ガラスクロス

•インクジェットプリント用助剤
•グラスウール断熱材



経営理念

日東紡グループは
「健康・快適な生活文化を創造する」
企業集団として社会的存在価値を高め、
豊かな社会の実現に貢献し続けます。

日東紡宣言

日東紡グループは
社会の「ベストパートナー」を目指します。
(日東紡BP宣言)

私たちは、
お客様の求めるものを絶えず追究し、
お客様に「安心と信頼」を
誠実にお届けすることを喜びとします。
また、企業活動を通じ
株主・投資家・行政・地域社会等
すべてのステークホルダー(社会)と共に
喜びを分かち合うことを大切にします。

私たちは自立した一人ひとりの社員の可能性を尊び、
自由闊達にアイデアを出し合いながら
チームワークにより力を発揮する企業集団を
目指します。

私たち企業グループは
社員の成長が会社の成長であることを信じ、
社員に成長と自己実現の機会を提供します。
社員はまず第一に良き市民であり、
深く考え、広く見渡し、果敢に行動します。
そして粘り強くやり遂げます。



深く 広く 強く
そして温かく
日東紡でよかった
それが、私たちの誇りです。

グローバル・ニッチNo.1を

創造し続ける

企業グループへ

100年の歴史、その先へ

日東紡グループは、1923年に福島県で繊維メーカーとして産声を上げました。それから100年余り。私たちはグラスファイバーやメディカル分野など、「世界初」「日本初」の素材を次々と世に送り出し、挑戦の歴史を刻んできました。時代の波をチャンスに変え、ひたむきに技術を磨き続けてきた歴史は、私たちの大きな誇りです。

強さは「現場」に宿る

当社の強さの源泉は、何よりも「現場」にあります。日東紡の製品は、決して派手なものではありません。しかし、そこには「粘り強く」「しつこい」ほどに「品質」へこだわる職人気質のエンジニアの精神が息づいています。日々の地道な改善を、愚直に、着実に積み重ねていく。この姿勢こそが、世界に通用する日東紡の価値を創り出していると確信しています。

着眼大局、着手小局

世の中は今、激動の時代にあります。私たちは常に「世界で何が起きているか」という大きな視点(着眼大局)を持ちつつも、日々の仕事においては、目の前の一切の妥協を排した細やかな実践(着手小局)を大切にしています。「環境・エネルギー」「デジタル化社会」「健康・安心・安全」。これらの大きな社会課題に対し、私たちは独自の技術を用いた製品を提供していくことで、課題解決に役立てていきます。

「グローバル・ニッチNo.1」への挑戦

私たちが目指すのは、単に規模を追うことではありません。誰も気づいていない潜在的なニーズを掘り当て、独自の技術で「日東紡にしかできない」ポジションを築くこと。世界中のお客様から「日東紡でよかった」と言ってもらえる、深く信頼される唯一無二のパートナーを目指しています。

夢は大きく、歩みは地道に

次の100年に向けて、私たちの夢は大きく膨らんでいます。しかし、組織としてはまだまだ未熟な点もあります。お客様や地域の方々の声に耳を傾け、時には厳しいお叱りをいただきながら、社員一丸となって一步一步成長していきたいと考えています。皆様のご支援を賜りたくお願い申し上げます。

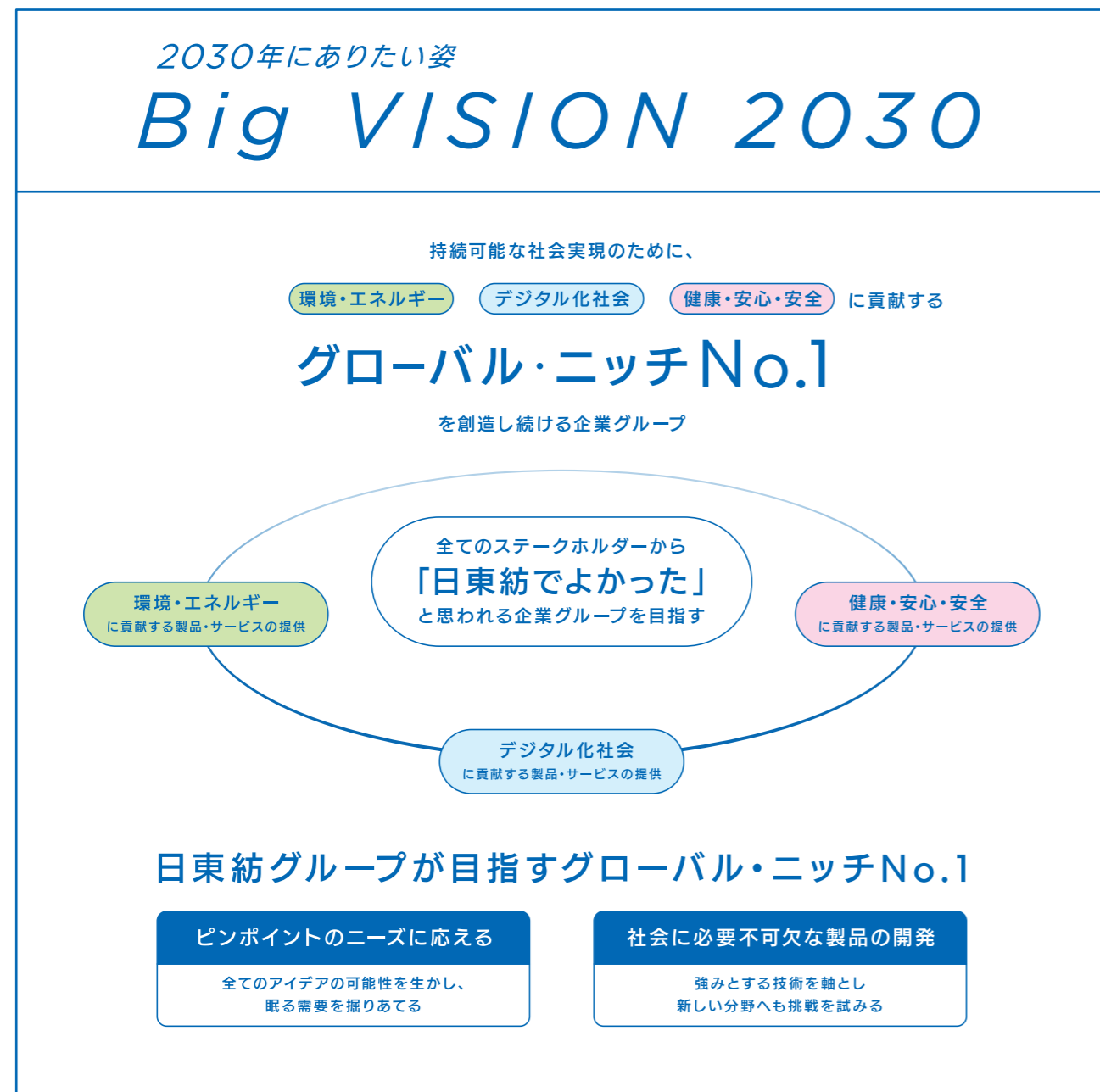


取締役 代表執行役社長

林 寿信

2030年にありたい姿を掲げ、 持続可能な社会を実現していく

日東紡グループは、2030年にありたい姿『Big VISION 2030』を長期ビジョンに掲げ、「環境・エネルギー」「デジタル化社会」「健康・安心・安全」の3つの分野に貢献し、グローバル・ニッチNo.1を創造し続ける企業グループを目指しています。



製品開発で独自のポジションを築き、
グローバルな顧客に深く根ざす

企業価値を高め、 サステナブルな社会を構築する

日東紡グループは、事業活動を通じ価値を創造することで社会に貢献するとともに、企業価値向上と持続的成長を遂げるため、環境 (Environment)、社会 (Social)、ガバナンス (Governance) の改善に努めています。

環境課題への取り組み *Environment*

日東紡グループは、全ての企業活動・事業展開において、環境に配慮した製品・サービスの提供と行動を通じ、かけがえない地球環境の次世代への継承・持続的に発展するという理念に基づき、環境課題に取り組んでいます。

取り組みの事例 (一部抜粋)

<p>使用済み太陽光発電パネルを再資源化</p> <p>使用済み太陽光発電パネルのカバーガラスを原料としたグラスファイバーの試作に成功。産業廃棄物の埋め立て量削減に加え、グラスファイバー製造時の天然資源由来原料の節減といった環境負荷の低減にもつながります。サステナブルな社会の構築に貢献していきます。</p>	<p>福島県郡山市のグリーン電力証書を購入</p> <p>郡山市の再生可能エネルギーの環境価値を活用するためグリーン電力証書を購入。再生可能エネルギーの地産地消と地域内経済循環を支援し、総合研究棟「NI-CoLabo」のカーボンニュートラル化や低炭素製品の展開に活用していきます。</p>
---	---

社会貢献・人材活躍・人権尊重 *Social*

日東紡グループは、全てのステークホルダーにとって「ベストパートナー」であり続けるとともに、一人ひとりの社員が持っている能力や考え方を大切に、また、サプライチェーンを含むあらゆるステークホルダーの多様性と人権を尊重し、社会貢献を行うことで、豊かな社会の実現に寄与し続けます。

取り組みの事例 (一部抜粋)

<p>児童招待公演「こころの劇場」に協賛</p> <p>「こころの劇場」は、日本全国の子どもたちを無料で劇場に招待し、演劇の感動を届けるプロジェクトです。当社は福島県での公演の協賛を通じて、多くの子どもたちの心に響く舞台を提供し、感動の輪を広げていく本活動に貢献しています。</p>	<p>「ふくしま共創チーム」への参画</p> <p>人口減少対策に取り組む官民連携の「ふくしま共創チーム」に参画。活動の一環として、富久山事業センターで、当社の多様な働き方や地域貢献活動の取り組みを紹介するなど、人口減少問題の解決と地域の魅力を高める活動を行っています。</p>
--	--

コーポレート・ガバナンス *Governance*

日東紡グループは、社会に信頼される企業集団として存続し発展していくために、法令や企業倫理の遵守を徹底し、顧客、株主、取引先、従業員等のステークホルダーの期待に的確に応えるべく、コーポレート・ガバナンスの構築と不断の見直しを行ってまいります。

100年の歴史、その先へ

1923年の創立以来、世界初のグラスファイバーの工業化（1938年）をはじめ、新たな素材や技術を世の中に送り出してきました。日東紡グループはいつの時代も、変化をチャンスと捉え新たな可能性を切り拓くことで成長を続けています。

1898
(明治31)年



郡山絹糸紡績株式会社(郡山)設立

1918
(大正7)年



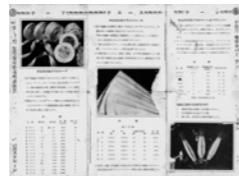
福島精練製糸株式会社(福島)設立

1923
(大正12)年



日東紡績株式会社創立

1938
(昭和13)年



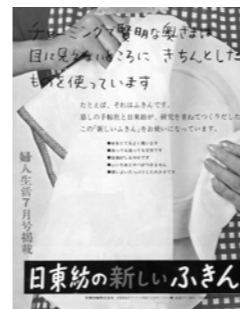
世界で初めてグラスファイバーの工業化に成功

1949
(昭和24)年



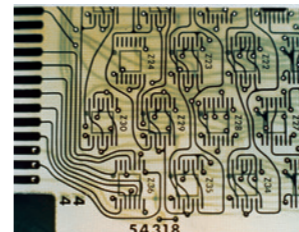
日本で初めて吹付法によるグラスウールの製造を開始

1960
(昭和35)年



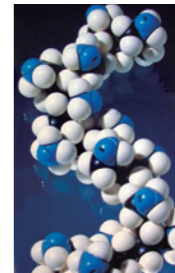
ロングセラー商品となる「日東紡の新しいふきん®」を発売

1969
(昭和44)年



プリント配線基板用ガラスクロス製造を開始

1984
(昭和59)年



世界で初めて機能性ポリマー「PAA®」の合成に成功

1987
(昭和62)年



ニッターボーメディカル(株)設立



スペシャルガラス「Tガラス」発売

1998
(平成10)年



スペシャルガラス「NEガラス」発売

2015
(平成27)年



ニッターボーメディカル(株)遺伝子組み換えカイコを用いた体外診断用医薬品の開発で農林水産大臣賞を受賞

2019
(令和元年)



Baotek Industrial Materials Ltd.(台湾)を連結子会社化

2020
(令和2)年



総合研究棟「NI-CoLabo」の設立



ニッターボーメディカル(株)富久山工場を増築

2021
(令和3)年



NITTOBO ASIA Glass Fiber Co.,Ltd.(台湾)にスペシャルガラス生産工場を新設

2022
(令和4)年



Nittobo America Inc.のカリフォルニア拠点を拡張

2023
(令和5)年



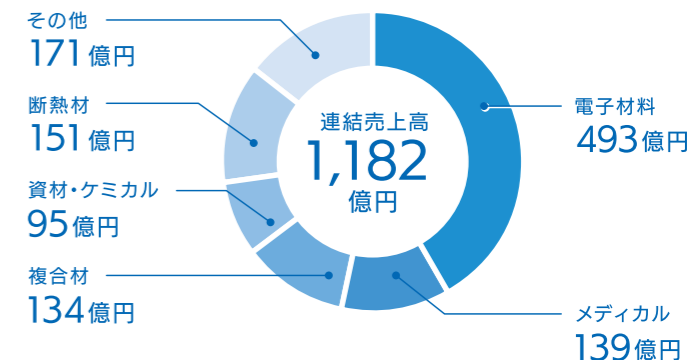
創立100周年



スペシャルガラス「NERガラス」の本格展開を開始

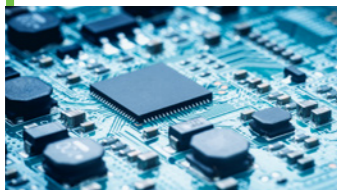
2024
(令和6)年

事業別売上高 (2025年度)



電子材料 事業本部

電子材料用途の
グラスファイバーヤーンとクロス
の開発、製造、販売



メディカル 事業本部

体外診断用医薬品を中心とした
メディカル事業



複合材 事業本部

プラスチック強化材料用途の
グラスファイバーを中心とした
複合材料の開発、製造、販売



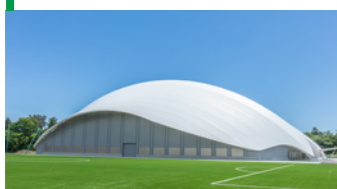
世界が求めているニッチを つくり続ける日東紡グループ

日東紡グループの事業領域は多岐にわたり、
各市場の変化やニーズを捉えながら5つの事業本部で製品の開発、製造、販売を行っています。
また、基礎・生産技術研究は技術開発本部で一括して行い、
持続的成長と企業価値の向上を実現するための強力な基盤を構築しています。



資材・ケミカル 事業本部

産業資材用グラスファイバー事業及び
ケミカル事業、繊維事業



断熱材 事業本部

断熱材を中心とした設備材用途の
グラス短繊維の開発、製造、販売

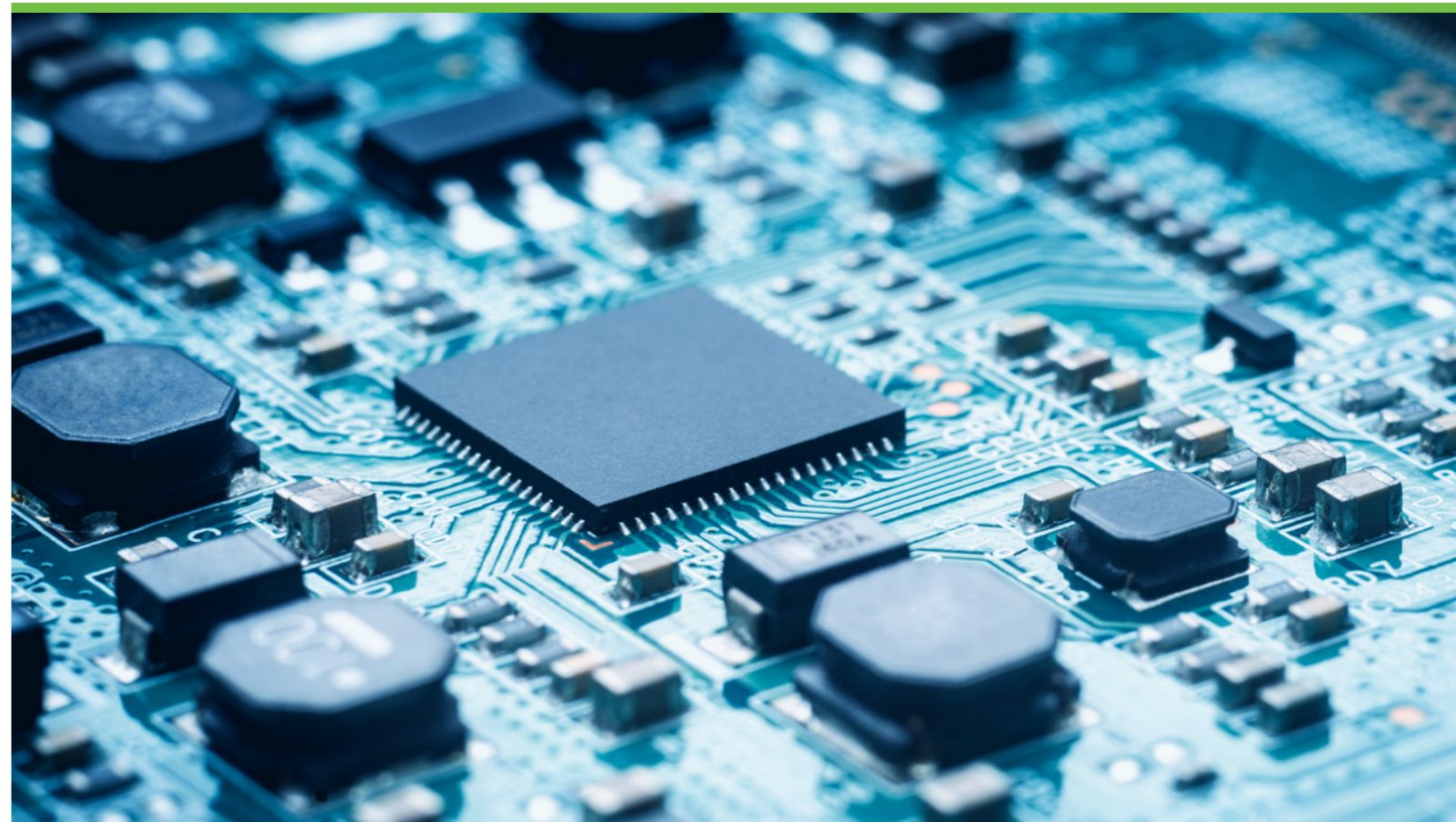


技術開発本部

基礎・生産技術研究、
DX、環境技術



電子材料事業本部



スペシャルガラスで、 デジタル化社会に進化を

電子材料事業本部では、ガラスヤーン(糸)及び電子材料向け
ガラスクロスを製造、販売しており、当社が独自開発した特殊組成
のスペシャルガラスクロスを軸に事業を展開しています。高度な
情報通信インフラの整備が進む社会において、高速通信・半導体
の技術革新を支えるプリント配線板材料分野にスペシャルガラス
を提供することにより貢献しています。スペシャルガラスは、
高速大容量通信に求められる低誘電率・低誘電正接、低熱膨張
などの特性に優れ、その品質は世界から高い評価を得ています。
様々な製品特性を持ったガラス組成開発技術や紡糸工程と
製織工程の双方を持つ一貫メーカーとしての強みを生かして、
この先もデジタルインフラの進化に貢献していきます。

TOPICS

半導体とAIの進化で広がる、
スペシャルガラスのニーズ。

半導体市場の成長と生成AIの進化により、スペシャルガラスの
需要が拡大しています。日東紡グループは、5G/6Gの高速
大容量通信や高速処理を支えるNEガラス、NERガラス
(低誘電・低誘電正接)と、高密度パッケージ基板に不可欠な
Tガラス(高弾性・低熱膨張)を展開。生産の増強と技術開発
を通じて、新たな市場の要望に応えていきます。



ヤーン

プリント配線基板や産業資材用として様々
な単糸ヤーンを製造、販売し、独自の品揃
えでお客様のニーズに応えています。



ガラスクロス

ヤーンを布状に織り、特殊な処理を施し
たガラスクロスは、電子回路間の導通を
防止する絶縁材として使用され、基板強度
の補強材としての役割も果たしています。

主な用途：
データセンター、サーバー、基地局、スマートフォン、
パソコンなどのプリント配線基板など

メディカル事業本部



複合材事業本部



高品質の 体外診断用医薬品で、 医療現場をサポート

疾病の診断や健康状態の確認に使用される「体外診断用医薬品」は、健康な人にとっても身近な存在です。日東紡グループでは、日東紡の100%子会社であるニットポーメディカル(株)が体外診断用医薬品を軸にメディカル事業を展開しています。

当社グループでは、米国拠点で原料を生産し、製品化に至るまでのグローバルバリューチェーンを展開しています。これにより、高品質の体外診断用医薬品を安定的に供給し、炎症マーカーなど多くの項目でトップシェアを獲得しています。特に免疫学分野の血漿蛋白系体外診断用医薬品は1988年から製造を開始し、「免疫のニットポー」として世界中の医療現場から厚い信頼を得ています。

高齢化の進展と生活習慣病の増加により、高まる臨床検査ニーズに応えるべく、今後も高品質な体外診断用医薬品の開発と安定的な供給に取り組んでいきます。



体外診断用医薬品

主に、疾病の診断や健康状態の確認に使用されています。日東紡グループでは、原料から製品までの一貫体制を確立することで、高品質の体外診断用医薬品を安定的に供給しています。

主な用途：
体外診断用医薬品(免疫血清学系、生化学系)

ラインアップ(抜粋)

主な診断意義	項目名
炎症	CRP
	IgG/IgA/IgM
	C3/C4
糖尿病性腎症	尿アルブミン
糸球体濾過能	シスタチンC
尿細管障害	β2マイクログロブリン
栄養状態	PreALB/RBP/Tf
アレルギー	IgE
リウマチ	MMP-3/RF
溶連菌感染症	ASO
鉄代謝	フェリチン/鉄/UIBC
骨粗鬆症	TRACP-5b
IgG4関連疾患	IgG4

プラスチック強化材を 提供し、 暮らしのあたりまえをつくる

日東紡グループが展開する複合材用のグラスファイバーは、高い形状安定性や加工性という特長を生かし、プラスチック強化材として自動車の様々な部品、家電製品、住宅設備機器など幅広い用途に使われています。

独自の技術で開発した異形断面の高性能ガラスは、通常の丸形ではなく長円形など異形の断面形状にすることで、成型品の強度を高め耐衝撃性に寄与するとともに、成型品の変形を抑えるなどの優れた特性も備えています。この特性によりわずかな歪みも許されないスマートフォンやパソコン、タブレットなどの筐体に使われています。また、従来廃棄物となっていたガラス材料を活用した環境配慮型リサイクルグラスファイバーの開発にも取り組んでいます。

複合材事業本部は、この先も独自の技術を生かし生活のあらゆる場面を支える複合材料の開発、製造、販売を進めていきます。



ロービング

用途に応じて最適な処理を施したストランドを所定の番手に引き揃えた、複合材料基材として最も応用範囲の広い、基礎的な製品です。



チョップドストランド

成形法や樹脂とのアフィニティの面から常に開発が行われ、多方面の用途に対応できます。



チョップドストランドマット

多彩な樹脂との親和性を向上させ、成形品の強度性能や耐煮沸性を高める製品です。



カットファイバー

樹脂に充填することにより、寸法安定性・クラック防止・表面改質・耐熱性向上などの効果が期待できます。

主な用途：
自動車用部材、スマートフォン、タブレット、ノート型パソコンなどの筐体、住宅設備機器など

資材・ケミカル事業本部



多様な資材で 社会のあらゆる場面に ソリューションを提供

資材・ケミカル事業本部では、3つの事業を展開しています。産業資材用グラスファイバー事業では、大型建造物用の膜材や自動車用の制振材など幅広い用途向けの製品を提供しています。低燃費・軽量化ニーズのある自動車や航空機分野に使用され、地球環境問題の改善にも寄与しています。ケミカル事業では、独自性の高い機能性ポリマーや有機無機ハイブリッド材(SSG)の開発、販売を手掛け、生活を支える様々な用途に使用されています。繊維事業では、接着芯地などでこれまでに培ってきた独自の接着技術を活用し、衣料用途に限らず生活資材や産業資材用途にも機能資材を提供し、多様化するお客様のニーズにマッチした製品を展開しています。また、これらの事業分野をベースに、既存の枠にとらわれない商品開発への取り組みにも力を入れています。



産業資材用 グラスファイバー

優れた耐熱、耐火特性及び機械的特性を生かして、スタジアム用膜材、テント倉庫用膜材、ロールブラインド、自動車用制振材など幅広く使用されています。



ケミカル

独自性の高い機能性ポリマーの開発、販売を手掛けており、販売先は、トイレタリー、製紙、金属、電子材料、ジュエリック医薬品分野など多岐にわたります。



繊維

保形性付与やシルエット調整のために用いられる接着芯地のほか、日東紡の新しいふきん®や、消臭・防虫機能を施した機能資材など、ニーズに合った製品を提供しています。

断熱材事業本部



高性能の断熱材が叶える、 地球にやさしく 暮らしやすい生活

建築物の省エネ化が求められる中、日本国内では従来よりも高い断熱等級が新設されるなど、断熱性能向上へのニーズがより一層高まっています。断熱材事業本部では、高い断熱性能を持つグラスウール断熱材の開発、製造、販売まで一貫して行っており、日東紡グループのパラマウント硝子工業(株)がその役割を担っています。省エネの観点に加え、健康面からも高断熱住宅に注目が集まり、断熱材の高性能化が求められていることから、より高性能なグラスウールの展開を推進しています。またグラスウールは優れた断熱性能に加え、不燃性や吸音性など多様な機能を持ち、住宅やビルなどの建築物から、船舶や車両などの産業用途に至るまで、幅広い分野で活用されています。さらに製造工程においては、ガラス原料の80%以上にリサイクルガラスを採用するなど、環境負荷を低減する製造も進めています。



住宅用グラスウール 断熱・吸音材

断熱性・吸音性・不燃性を備え、経済性と施工性にも優れているため、住宅分野で広く採用されています。環境性能とコストパフォーマンスの両立を実現する断熱材です。



建築・産業用グラスウール 断熱・吸音材

住宅用途にとどまらず、ビルや工場などの建築物から各種産業分野に至るまで、幅広く活用されています。その中でもGCボードは断熱性と吸音性が求められる機械室など、快適性と機能性が求められる空間で多く採用されています。

主な用途：
住宅・建築・設備用途の断熱・吸音材

技術開発本部



専門領域を越えて、 新たなイノベーションを 起こす

日東紡グループは、創業以来、研究開発・技術開発を積極的に進め、独自の製品を生み出してきました。2024年4月には組織を再編し、商品開発は5つの事業本部が製造、販売と一体で担う体制へ移行。各事業本部が開発、製造、販売を一体運営することで顧客視点を強め、多様なニーズに応えています。また技術開発本部は基礎研究や生産技術に特化し、商品開発機能も横断的に支えています。日東紡の技術開発の特徴は、未知の領域ではなく、既存の顧客や技術の延長にある分野でのイノベーションに注力する点です。さらにDXや環境技術も推進し、省人化・自動化の取り組みを拡大するなど、将来を見据えた研究活動と技術力の向上を進めています。

研究開発・技術開発の体制図



技術開発本部 主要施設

総合研究棟 NI-CoLabo/複合材・産資開発棟

技術開発本部方針

3つの柱を軸に 新たな未来を切り拓く

『Big VISION 2030』の実現に向けて、「失敗を恐れずに果敢にチャレンジし続ける」という創業当時の精神に立ち返り、技術開発本部は3つの柱を軸に不断の挑戦を続けていきます。

両利きの開発

- 生産・技術基盤の抜本的革新
将来必要となる基盤技術の強化、実装
- コア技術の再定義と新市場参入
新しい市場の開拓、種まきを推進

オープンイノベーション

- 異業種アライアンスの加速
- 共創研究所の設立と人材育成
- 知財戦略

デジタルイノベーション

- 新素材開発プロセスの高度化
- 熟練技術の伝承と業務の完全自動化

総合研究棟 NI-CoLabo

次世代のOnly1を生み出す「共創」の拠点

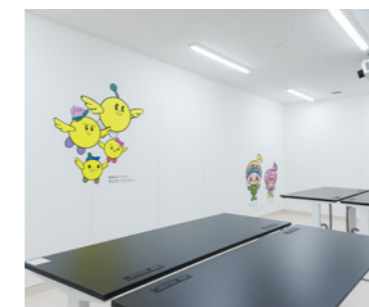
NI-CoLaboは、単なる研究所ではなく、これまで各事業センターに点在していた研究・開発機能を集約し、部門の壁を越えた研究員同士の交流によってイノベーションを生み出す戦略的拠点です。社内のつながりだけでなく、産官学の共同研究や社外の方々が見学・交流できるエリアを完備し、外部の知見を取り入れる開かれた研究体制を実現。日東紡の「Only1、No.1の技術」を磨き上げるとともに、新たな技術領域を開拓する中心地でもあります。さらに安全でクリーンな環境と最新設備を整え、ここで生み出される新素材開発のデータがデジタル技術と融合することで、開発プロセスの高度化にも貢献しています。



エリア一例

子ども実験室

常設の実験室を設け、近隣の小学校に向けて、科学教室を実施するなど、次世代を担う子どもたちが科学に触れるきっかけを提供しているスペースであり、地域社会との大切な接点でもあります。



リフレッシュコーナー

吹き抜けのリフレッシュコーナーは、木の手触りを感じる開放的な空間で、研究員たちの憩いの場です。研究の合間のリラックスした会話から新たなひらめき生まれる仕掛けが施されています。



会社概要

創業年月

- 1898(明治31)年 2月 郡山絹糸紡績株式会社(郡山)設立
- 1918(大正7)年 4月 福島精練製糸株式会社(福島)設立
- 1923(大正12)年 4月 日東紡績株式会社創立

資本金

196億円

従業員数(2026年3月31日)

2,793名(連結) 867名(単体)

本店所在地

福島県福島市郷野目字東1番地

本部所在地

東京都千代田区麹町二丁目4番地1

事業拠点

・東京本部

〒102-8489
東京都千代田区麹町2-4-1
TEL. 03(4582)5111

・大阪支店

〒541-0046
大阪府大阪市中央区平野町4-2-3
(オービック御堂筋ビル)
TEL. 06(6208)5015

・名古屋支店

〒460-0003
愛知県名古屋市中区錦2-14-21
(円山ニッセイビル)
TEL. 052(231)5131

・福島事業センター

〒960-8581
福島県福島市郷野目字東1
TEL. 024(546)3131

・(旧)福島工場

〒960-8581
福島県福島市郷野目字東1
TEL. 024(546)3131

・(旧)福島第2工場

〒960-2154
福島県福島市佐倉下一本杉20
TEL. 024(593)1231

・富久山事業センター

〒963-8061
福島県郡山市富久山町福原字塩島1
TEL. 024(932)6011

技術開発本部

TEL. 024(932)6110

国内拠点
東京都・北海道・福島県・栃木県・群馬県・福井県・三重県・兵庫県

台湾拠点
嘉義縣・桃園市
NITTOBO ASIA Glass Fiber Co., Ltd.
Baotek Industrial Materials Ltd.
台湾日東紡股份有限公司

米国拠点
カリフォルニア・アイオワ・メイン・ワシントン(全て州)
Nittobo America Inc. ...a
Kamiya Biomedical Company, LLC ...b

主なグループ会社

電子材料事業本部

- ・日東グラスファイバー工業(株)
福島県郡山市
グラスファイバー製品の製造
- ・NITTOBO ASIA Glass Fiber Co., Ltd.
台湾嘉義縣
グラスファイバー製品の製造及び販売
- ・Baotek Industrial Materials Ltd.
台湾桃園市
グラスファイバー製品の製造及び販売
- ・台湾日東紡股份有限公司
台湾桃園市
グラスファイバー製品の販売

資材・ケミカル事業本部

- ・日東グラステックス(株)
群馬県邑楽郡大泉町
グラスファイバー製品の製造及び販売
- ・(株)ニッターポー・エフアールピー研究所
福島県郡山市
グラスファイバー製品等の製造及び販売
- ・日東紡アドバンテックス(株)
兵庫県伊丹市
芯地製品、機能資材、ふきんの開発・製造・販売
- ・(株)文京精練
福井県福井市
繊維製品の加工

メディカル事業本部

- ・ニッターポーメディカル(株)
東京都千代田区、福島県郡山市
体外診断用医薬品の開発・製造・販売
- ・(株)フロンティア研究所
北海道石狩市
バイオアッセイ測定系開発・製造・販売及び抗体作製受託
- ・Nittobo America Inc.
米国カリフォルニア州、アイオワ州、メイン州
体外診断用医薬品用抗血清の製造及び販売
- ・Kamiya Biomedical Company, LLC
米国ワシントン州
体外診断用医薬品の製造及び販売

断熱材事業本部

- ・パラマウント硝子工業(株)
福島県須賀川市、北海道江別市、三重県鈴鹿市
グラスウール製品の製造及び販売

その他事業

- ・日東紡グローバルトレーディング(株)
東京都千代田区
グラスファイバー製品・電子関連材料等の販売
- ・(株)日東紡テクノ
福島県郡山市
機械設備の設計・製作販売、建築・土木工事の設計・施工監理及び請負
- ・日東紡アライドサービス(株)
福島県福島市
各種業務請負

複合材事業本部

- ・富士ファイバーグラス(株)
栃木県真岡市
グラスファイバー製品等の製造・加工・販売

<p>日東紡 〒102-8489 東京都千代田区麹町2-4-1 TEL 03(4582)5111 URL https://www.nittobo.co.jp/</p>	<p>ホームページ </p>	<p>採用サイト </p>
---	----------------	---------------



※環境に配慮して、本紙は植物油インキの使用と再生紙を使用しています。

2026年6月 改定版

